

お知らせ



平成21年5月26日

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
近畿中国四国農業研究センター

パンフレット「開放型研究施設「オープンラボ」のご利用案内」の公開

**ポイント**

- ・産学官連携の推進をより一層強化
- ・新品種の開発、農産物の高品質化や機能性成分等の研究を行うための分析機器を整備
- ・中山間・傾斜地農業に関する研究交流を支援

農研機構 近畿中国四国農業研究センターでは、地域における産学官連携の研究交流促進のため、開放型研究施設「オープンラボ」を3ヶ所に開設しています。

この度、新たに利用案内のパンフレットを作成し、当研究センターホームページで公開しましたので、お知らせ致します。

是非ご一読いただき、広く読者の皆様にご紹介いただきますれば幸いに存じます。

記

1. 公開ホームページ

<http://wenarc.naro.affrc.go.jp/>（「近畿中国四国」で検索が可能です。）

このページの左フレーム「産学官連携情報」の「オープンラボの紹介」ページで公開しています。

2. オープンラボの名称、設置場所

- 農産物等成分解析開放型研究施設  
近畿中国四国農業研究センター本所（広島県福山市）
- 傾斜地農業開放型研究施設  
近畿中国四国農業研究センター四国研究センター（香川県善通寺市生野地区）
- 第2共同実験棟  
近畿中国四国農業研究センター四国研究センター（香川県善通寺市仙遊地区）

研究推進責任者 農研機構 近畿中国四国農業研究センター 所長 鳥越 洋一

（問い合わせ先）農研機構 近畿中国四国農業研究センター

企画管理部 情報広報課長 中村博志

TEL 084-923-5385、FAX 084-923-4106

この資料は、福山市政記者クラブ、香川県政記者クラブ、善通寺記者クラブ、日本農業新聞中国四国支所、日本農業新聞四国支所、全国農業新聞、農業共済新聞に配付しています。

# オープンラボのご利用にあたって

<b>申し込みについて</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下記の問い合わせ先に、利用を希望する施設・機器、分析・調査しようとする試料などをお知らせください。機器の使用に精通した研究者を紹介しますので、スケジュール等を打ち合わせてください。</li> <li>2. 研究者の指導・助言のもとで、機器等をご利用いただけます。</li> <li>3. 乾燥や粉碎などの前処理が必要な場合や、試料の保存のための冷蔵・冷凍庫が必要な場合は、ご相談ください。</li> </ol>
<b>費用などの支払い</b>	ご使用になられた機器の消耗品類を実費負担、または持参していただきます。 (ただし、依頼分析・鑑定の場合を除きます。)
<b>ご注意ください</b>	試料の種類や利用内容によって、また、研究等の繁忙期には、ご利用いただけない場合があります。
<b>研究交流制度について</b>	以下の研究交流制度を活用して、オープンラボを利用することもできます。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 共同研究、協定研究</li> <li>2. 依頼研究員</li> <li>3. 技術講習</li> </ol> ※各制度の詳細は、下記にお問い合わせください。

## オープンラボのご利用に関するお問い合わせ先

- 1 農産物等成分解析開放型研究施設（福山地区）**  
 〒721-8514 広島県福山市西深津町6-12-1 近畿中国四国農業研究センター 企画管理部業務推進室  
**Tel : 084-923-4107 Fax : 084-923-5215**
- 2 傾斜地農業開放型研究施設（四国研究センター生野地区）**
- 3 第2共同実験棟（四国研究センター仙遊地区）**  
 〒765-8508 香川県善通寺市仙遊町1-3-1 近畿中国四国農業研究センター 企画管理部四国企画管理室  
**Tel : 0877-63-8101 Fax : 0877-62-2342**

近畿中国四国農業研究センターの様々な研究成果、イベントなどの情報提供、技術マニュアルやハンドブックなど出版物はホームページからもご覧いただけます。是非ご利用ください。

URL <http://wenarc.naro.affrc.go.jp/>



携帯電話からも一部の情報をご覧いただけます。上記のQRコードをご利用ください。



独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
**近畿中国四国農業研究センター**  
 National Agriculture and Food Research Organization  
 National Agricultural Research Center for Western Region

## 開放型研究施設「オープンラボ」のご利用案内



近畿中国四国農業研究センターでは、地域のみなさまにご利用いただける開放型研究施設「オープンラボ」を福山・生野・仙遊の3地区に設置しています。オープンラボを利用して、当センターを中心とした産学官連携による共同研究等を推進いたしますので、是非ご利用下さい。

## 1 農産物等成分解析開放型研究施設（福山地区）

農産物の高品質化、機能性成分の研究のための機器を整備し、多くの共同研究を実施してきました。また、居室としてご使用いただけるミーティングルームも整備しています。

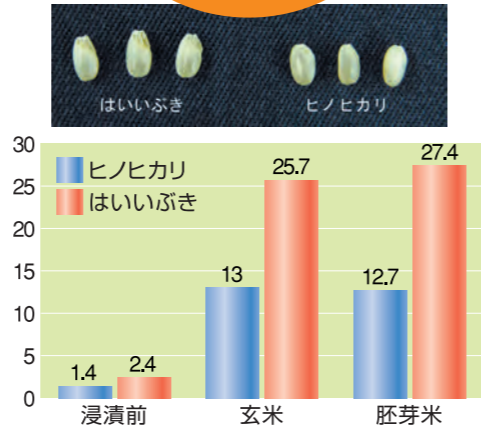


**小麦製粉試験機(テストミル)**  
加工適性などの調査のため、数kg程度の製粉ができます。



**高速アミノ酸分析計**  
味や機能性に関する遊離アミノ酸を分離・定量できます。

### 成果紹介



高速アミノ酸分析計で測定すると、巨大な胚芽を持つ「はいいぶき」は、通常品種の約2倍のGABA(γ-アミノ酪酸)を生成することがわかりました。

## 3 第2共同実験棟（四国研究センター仙遊地区）

小麦、大麦・はだか麦、大豆、資源作物等の新品種の開発や、成分分析を行うための機器を整備しています。機器の共同利用により、産学官連携を図っています。



**粒度分析計**  
小麦粉・大麦粉の粉の大きさを測定できます。



**小麦/大麦粒測定器**  
小麦、大麦の穀粒の大きさや水分を迅速に測定できます。

### 成果紹介



	ユメサキボシ	イチバンボシ
子実重(kg/a)	59.4	56.2
整粒歩合 2.0mmふるい(%)	99.4	98.0
整粒歩合 2.2mmふるい(%)	97.0	89.4
リットル重(g)	805	820
千粒重(g)	39.9	31.0

日本初の二条はだか麦「ユメサキボシ」の開発に、これらの機器が活躍しました。

## 2 傾斜地農業開放型研究施設（四国研究センター生野地区）

傾斜地での作業性研究のための機器や、水や土壌、植物などの有機・無機成分分析の装置を整備し、中山間・傾斜地農業に関する研究交流を支援しています。また、技術研修等のための会議室を備えています。

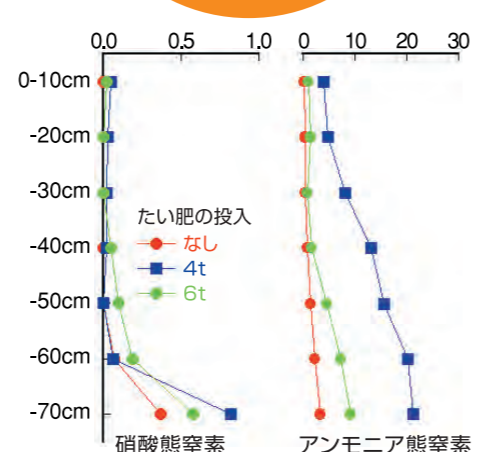


**傾斜地車両特性解析装置**  
傾斜地における作業性を解析できます。



**イオンクロマトグラフ**  
環境水中の無機イオン類を、分離・定量できます。

### 成果紹介



イオンクロマトグラフでたい肥を施用した畑地土壌中成分を測定すると、窒素成分の動態を詳細に把握することができました。

## オープンラボに設置されている他の機器

### ● 農産物等成分解析開放型研究施設（福山地区）

飛行時間型質量分析装置	ペプチドなどの分子量を1,000~5,000の範囲で測定できます。
近赤外分光光度計	米、麦、大豆の品質・食味などに関する成分を、粒のまま迅速に測定できます。

### ● 傾斜地農業開放型研究施設（四国研究センター生野地区）

気象観測装置	ゾンデで上空の気象観測や、局地風や日射量を測定できます。
全自動窒素炭素同位体質量分析計	炭素13、窒素15を測定して、物質代謝を解析できます。

### ● 第2共同実験棟（四国研究センター仙遊地区）

高速液体クロマトグラフ	大豆中のサポニン・イソフラボンなどを分離・定量できます。
-------------	------------------------------

整備された機器など、詳しくはホームページをご覧ください。

[http://wenarc.naro.affrc.go.jp/cpc/open\\_lab/index.html](http://wenarc.naro.affrc.go.jp/cpc/open_lab/index.html)